

自律移動ロボット将来ビジョン検討会の開催について

令和3年12月2日
経済産業省
独立行政法人情報処理推進機構
デジタルアーキテクチャ・デザインセンター

1. 趣旨

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC）は、Society5.0の実現に向け、社会システムや産業構造の最適な連携等を通じ、その総合的な信頼性等の確保と日本の産業競争力の強化を図ること、また社会的課題を解決することを目的とする活動の一つとして、多様なステークホルダーの参画を得て、透明性、公平性、中立性を確保しつつ、社会システムや産業構造の全体の見取り図である「アーキテクチャ」を設計し、デジタル時代に必要となる分野横断的な社会インフラの構築に取り組んでいる。

このたび、情報処理の促進に関する法律（昭和45年法律第90号）に基づいて、デジタル庁からドローン、サービスロボット等の自律移動ロボットのアーキテクチャ設計についての検討の依頼を受けた。

デジタル庁からの依頼を受け、DADCは、関係省庁の支援のもとで、自律移動ロボットのアーキテクチャ設計の検討を開始し、自律移動ロボット・デジタル・ビジネス・ガバナンスの各領域の有識者等により構成する「自律移動ロボット将来ビジョン検討会」を組織することとし、自律移動ロボットが活用され、社会的課題の解決や産業の発展に繋がる将来像を具体化し、自律移動ロボットの運行に関する運用及び管理を行う者が異なる複数の関連する情報処理システムの連携の仕組み（アーキテクチャ）を描く活動を行う。

2. 検討会の構成等

- （1）検討会は、別紙に掲げる委員等により構成する。
- （2）検討会は、必要に応じて、委員を変更することや、関係者の出席を求めて意見を聞くこと、オブザーバーとして関係者の参加を認めることができる。

3. 検討会及び議事等の公開

検討会、その議事及び資料は、原則として公開する。ただし、その内容に鑑み、営業秘密の保護その他の観点から公開することが適切でないと判断される場合については、これを非公開とする。

4. 庶務

検討会の庶務は、経済産業省の協力を得て、独立行政法人情報処理推進機構（デジタルアーキテクチャ・デザインセンター）において処理する。

[五十音順、敬称略]

- 市川 芳明 多摩大学大学院 客員教授/(一社)NEXCHAIN 代表理事
- 稲谷 龍彦 京都大学大学院 教授
- 齊藤 裕 (独)情報処理推進機構 デジタルアーキテクチャ・デザインセンター長
- 柴崎 亮介 東京大学 空間情報科学研究センター 教授
- 鈴木 真二 東京大学 特任教授/(一社)総合研究奨励会日本無人機運行管理コンソーシアム代表
- 中村 裕子 東京大学 特任准教授/(一社)日本 UAS 産業振興協議会 参与/
(一社)総合研究奨励会日本無人機運行管理コンソーシアム 事務局次長
- 羽生田 慶介 多摩大学大学院 客員教授 /
(株)オウルズコンサルティンググループ代表取締役 CEO
- 古谷 知之 慶應義塾大学 教授/SFC 研究所「ドローン社会共創コンソーシアム」代表

(役職は令和3年12月現在)